

| | | | |
|--|--|---------|-----------|
| 年度 2009 学期 後期 | 曜日・校時 水 4 | 必修選択 必修 | 単位数 1 |
| 授業科目/(英語名) | 総合英語Ⅱ (Comprehensive English Ⅱ) | | |
| 対象年次 1年次 | 講義形態 演習 | 教室 | |
| 対象学生(クラス等) | Ti | 科目分類 | 外国語科目(英語) |
| 担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:加島 巧 /Eメールアドレス:kashima@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp 研究室: /TEL: /オフィスアワー:授業終了後の教室 | | | |
| 担当教員(オムニバス科目等) | | | |
| 授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 下記のテキスト使用し、読解、リスニング、英作文力を付けてゆきます。英語の総合力を伸ばすことを目標としますが、なかでも、正しく読むことを中心に授業を行います。 授業方法: 毎回決められた量のテキスト読み、問題を解いてゆきます。授業の最初には速読対策のプリントでモチベーションを高めます。 授業到達目標: 1回目のオリエンテーション後の2回目と15回目には同じレベルの英語能力判定テストを実施しますので、まず、自分の英語能力を判定し、半年後の伸びを図って見ます。 | | | |
| 授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 日米の架け橋となった人について英語でその足跡をたどります。戦後の小売形態を完全に変わってしまったスーパーのビジネスモデル、ウォークマンから iPod へ等、日米のさまざまな面で直接間接に影響を与えた人物を取り上げています。ラーメン、歌、スポーツ、政治や教育等の様々な話題を通して、英語力の向上をめざす総合教材。Scanning を駆使した読解、対話文でのリスニング、英作文で構成されている。 第1回:オリエンテーション 第2回:英語能力判定テスト 第3回:William Adams (三浦按針)シェークスピアと同時代のイギリス人。九州、特に大分と平戸と関係が深い人物。 第4回:Matthew Calbraith Perry 黒船来襲。幕末の日米関係について。 第5回:William Smith Clark 少年よ大志を抱けという句はあまりにも有名。 第6回:John Manjiro 土佐の漁師の波乱万丈の一生とは?長崎奉行所で取調べを受けたことも。 第7回:Yukichi Fukuzawa 天は人の上に人を造らず。 第8回:Umeko Tsuda 津田女子大の創設者。渡米したのは、わずか8歳の時でした。 第9回:Edwin O. Reischauer 日本で生まれ、駐日大使を務めた人物。彼の業績はその他にも、、、。 第10回:Donald Keene 日本文学・文化の専門家。最近は、渡辺崋山の本も出版。 第11回:Momofuku Ando インスタントラーメンを作った人。彼の足跡は即席麺の歴史でもある。 第12回:Hayao Miyazaki 千と千尋の神隠しについて学ぶ。 第13回:Soichiro Honda ホンダについて。 第14回:英語能力判定テスト 第15回:試験を含む授業の総括 | | | |
| キーワード | 日米 | | |
| 教科書・教材・参考書 | <i>Across the Pacific Ocean</i> (日米の架け橋になった人々) 成美堂 (最初の授業時に教室でテキストを販売します。テキスト代 1890 円を用意してください。) 必要に応じてプリントを配布します。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 | 授業への積極的参加 30% 小テスト 20% 定期試験 50% | | |
| 受講要件(履修条件) | 授業には辞書を持参してください。電子辞書可。授業中の携帯電話の使用は禁止します。 | | |
| 本科目の位置づけ / 学習・教育目標 | | | |
| 備考(準備学習等) | | | |